



東京の放課後子供教室



1 放課後子供教室推進事業の目的

東京都教育委員会では、平成19年度から「放課後子供教室推進事業」を開始しました。

この事業は、青少年の問題行動の深刻化や地域の教育力の低下等の課題に対応するため、区市町村を実施主体として、放課後や週末等に、地域に安全・安心な子供の活動拠点「放課後子供教室」を設け、様々な体験活動や交流活動等の取組を全ての小学校区で実施することを目指しているものです。

2 「放課後子供教室」の進捗状況

東京都では、この事業を「第二次東京都教育ビジョン」及び「『2020年の東京』への実行プログラム2012」の計画事業に位置付け、区市町村での取組の促進を図っています。

平成19年度は38区市町475教室、平成20年度は46区市町713教室、平成21年度は48区市町883教室、平成22年度は50区市町956教室及び都立特別支援学校2教室の計958教室、平成23年度は51区市町1,005教室及び都立特別支援学校4教室の計1,009教室が実施されるなど着実に増加しています。

平成24年度も52区市町1,066教室及び都立特別支援学校5教室の計1,071教室が実施される予定です。

3 放課後子供教室の実施状況



実施状況・運営体制

平成22年度には、958教室が開催されました。年間開催日数は、1教室当たり平均172日です。子供の参加延べ人数は、7,897,036人です。1教室・1日約48人が参加している計算になります。

放課後子供教室の運営を支えるスタッフは、教室運営の総合調整役のコーディネーター、子供たちの活動を見守る安全管理員、学習活動のほか様々な体験・交流活動を推進する学習アドバイザーの三者です。その大半は、地域住民の参加協力により担われています。

コーディネーター配置数は、1自治体当たり14.2人、安全管理員の配置数は、1日・1教室当たり4.6人、学習アドバイザーの配置数は、1日・1教室当たり1.2人でした。

日々の放課後子供教室は、48人の子供たちが参加し、1.8回(種類)の活動に取り組んでおり、それは5.8人のスタッフにより運営されているということになります。

活動内容

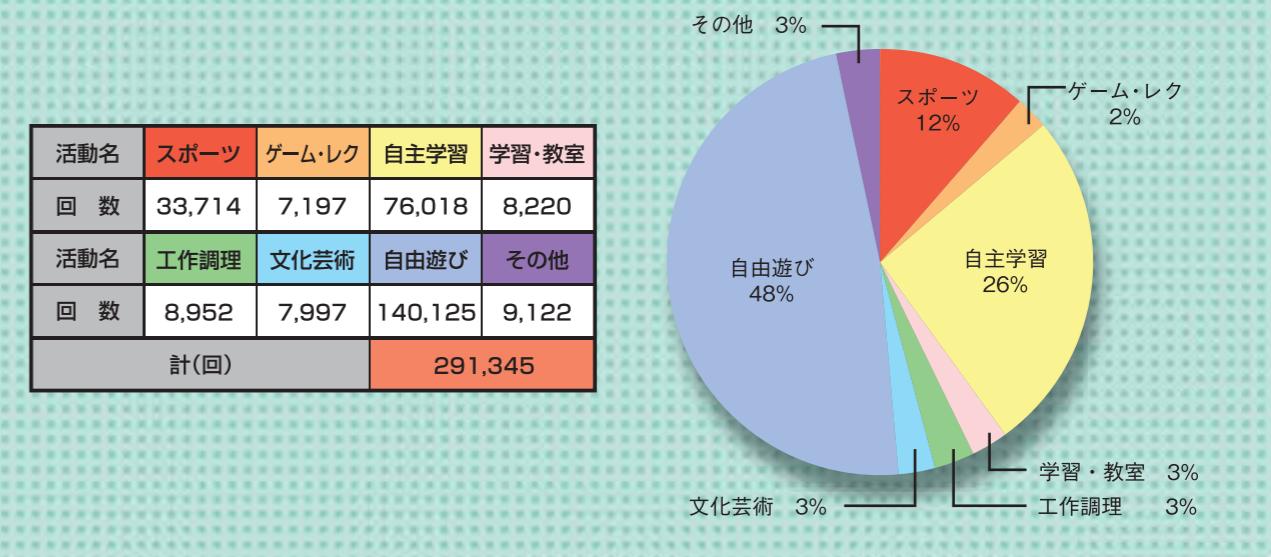
平成22年度中に行った活動の延べ回数は、291,345回です。1教室・1日当たり1.8回(種類)の活動が実施されています。

子供たちが自分で考え、思い思いに活動している「自由遊び(48%)」と「自主学習(26%)」で全体の74%を占めています。

そのほか、スポーツ(12%)、ゲーム・レク(2%)、学習・教室(3%)、工作調理(3%)、文化芸術(3%)、その

他(3%)など、学習アドバイザー等が活動プログラムを用意し、子供たちが選択して参加するものが全体の26%となっています。

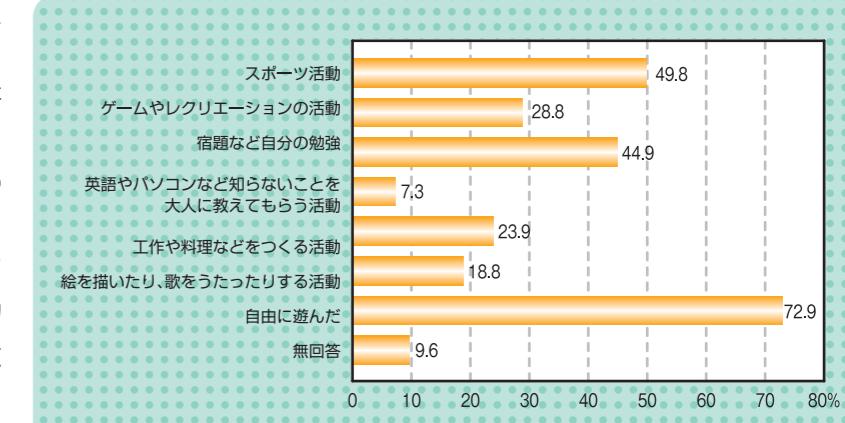
活動名	スポーツ	ゲーム・レク	自主学習	学習・教室
回 数	33,714	7,197	76,018	8,220
活動名	工作調理	文化芸術	自由遊び	その他
回 数	8,952	7,997	140,125	9,122
計(回)				291,345



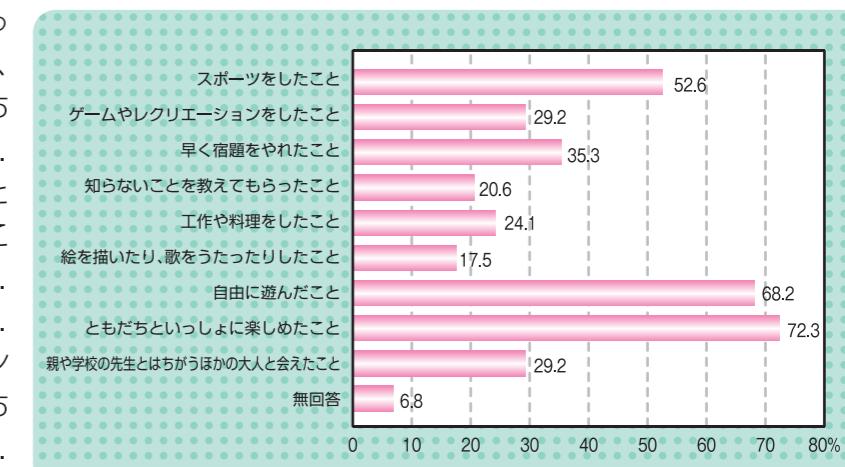
4 子供たちの声

(東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課「平成23年度放課後子供教室に関するアンケート調査」から)

あなたは、平成23年9月の一ヶ月間に、どの活動に参加しましたか



放課後子供教室に参加してよかったです、楽しかったことは何ですか



活動内容(種目等)の魅力とともに、「ともだち」や「親や学校の先生とは違う大人」と一緒に活動することや新たな人との出会いが放課後子供教室の魅力の一つとなっていることがうかがえます。